初期洛中洛外図屏風とはどんな絵画か　プロローグ　1

四つの初期洛中洛外図屏風　洛中洛外図屏風の誕生
洛中洛外図屏風の構図―「右隻」と「左隻」
描かれた景観　塔上の景色　四季絵の要素

一　歴博甲本を読む　17

登場人物をさぐる―幕府・細川邸など　18

制作の目的　三条西家　幕府　典厩邸　細川邸
小さな肖像画　細川植国の死と制作年代　中心画題
幕府は実在するか　建設地の決定過程　細川氏エリア
高国の勝利宣言

Column
室町幕府はどこにあったか　36

二条万里小路邸（尊氏）
三条坊門邸（三条邸、義詮・義持・義植など）
室町殿（花の御所　義満・義教・義政・義尚など）
柳の御所（大永度義晴邸）　二条御所（義輝・義昭）

描かれた武家と公家の屋敷　41

内藤邸　薬師寺邸　南の御所　大心院　斯波邸（武衛）
畠山邸　近衛邸　近衛氏の一行　飛鳥井邸

三条西邸　二条邸

細川高国の事績と作者 *53*

犬追物　船岡山　父子の像　作者は誰か　絵師の自画像　狩野工房

Column

野外酒宴場面の系譜 *62*

伝来について *67*

女性と尼寺　上臈三条氏息女の一行　三条家への伝来

貼り札　屏風の贈り先　屏風の「その後」　高国政権の意味

都市民衆の世界―床屋と両側町 *78*

床屋の出現したわけ　両側町と角地の床屋

剃刀と瓦は近世から　祇園祭と祇園社の変化

洛中洛外図屏風『朝倉本』に描かれたもの *86*

洛中洛外図屏風の系譜　「朝倉本」の成立　歴博甲本との関係

「朝倉本」の左隻　双岡と船岡山

二

東博模本を読む *95*

東博模本の背景 *98*

写しのみが現存　室町末期京都の政治史

描かれた細川邸と幕府 101

細川邸・典厩邸　幕府＝「今出川御所」　花の御所跡の再開発

東博模本の制作事情 104

幕府付近の武家屋敷　細川邸付近と被官の屋敷　「讃州の館」と讃州寺
阿波細川氏のエリア　「阿波本」としての意味　伝来の過程
描かれた年代―武家屋敷　天文法華の乱　東博模本の貼り札
鉄炮使用の絵　月次風俗　作者

三 上杉本を読む 129

上杉本の成立事情 132

永徳の作品　年代と伝来

上杉本の中心主題 134

細川邸と謙信の行列　幕府―花の御所　足利義輝と近衛前久

洛中洛外図屏風としての特質 140

描写の矛盾　先行する屏風の影響　義輝の敗北　相国寺塔上の図
斯波邸―もうひとつの幕府　二条邸―源氏絵の世界

都市の風俗と季節 148

市街の描写　季節の早回し

四　歴博乙本そしてその後　153

歴博乙本の特色　156

制作目的　制作年代　新しい風俗　歴博乙本の作者

洛中洛外図屏風のその後　163

二つの方向性　安土図屏風　聚楽第図屏風　江戸図屏風
都市図のその後　名所絵と市街地図　描かれた景観のその後